

ーはじめに

いまご紹介がありました、内閣府の高齢社会対策担当参事官をしております原口と申します。よろしくお願いいたします。

お手元にお配りいたしました、先ほど来ご紹介があった「高齢社会白書」の概要を基本として、現在行っている施策等も含めながらご紹介を申し上げたいと思います。

<高齢社会白書 全体構成>

まずは「高齢社会白書」ですが、今年は6月15日に閣議決定しました。第1章、第2章という2章立てになっています。第1章が、高齢化の状況についての分析等を掲載しています。第2章が、高齢社会対策の実施の状況です。いろいろな施策を講じていますが、その施策について23年度に講じたもの、24年度に講じるものという形で整理して掲載しています。

第1章第1節では、23.3%と高齢化率が世界最高になってきていること、第2節では、経済状況や、先ほど樋口先生からご紹介がありました、就業、社会参加、健康・福祉、生活環境・住環境がどのようになっているかを取りあげています。第3節では、先ほど来、堀田先生からもご紹介がありました、政府として「高齢社会対策大綱」のとりまとめの作業に入っているところで、その報告書について記載しています。第4節では、高齢者が活躍できる環境づくりを紹介しております。高齢者パワーが非常に重要だということもあるので、今年の白書では「高齢者が活躍できる環境づくり」という形で、一つ目が就労、二つ目がボランティア活動等の社会的な活動、三つ目が昨年3月11日に東日本大震災がありました、震災関連では被災地支援として高齢者がどのような活動をしているのかを分析しています。四つ目は、先進的な事例等について取組を全国の皆様にご紹介するという形で掲載しています。



高齢社会白書 全体構成

< 第1章 高齢化の状況 >

第1節 高齢化の状況

第2節 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向

(家族と世帯、経済状況、健康・福祉、就業、社会参加活動、生活環境)

第3節 「高齢社会対策の基本的在り方等に関する検討会報告書

～ 尊厳ある自立と支え合いを目指して～」について

第4節 特集「高齢者が活躍できる環境づくり」

高齢者の就労

高齢者の社会的な活動(ボランティア活動)

高齢者による被災地支援

事例紹介

< 第2章 高齢社会対策の実施の状況 >

第1章 高齢化の状況

第1節 高齢化の状況

< 高齢化の現状 >

高齢化の状況		高齢化の現状					
2011年10月現在、総人口は1億2,780万人で、対前年比で微減 65歳以上の高齢化率は23.3%、75歳以上は11.5%に上昇							
表1-1-1 高齢化の現状							
		平成23年10月1日			平成22年10月1日		
		総数	男	女	総数	男	女
人口 (万人)	総人口	12,780	6,218	6,562	12,806	6,233	6,573
		(性比) 94.8			(性比) 94.8		
	高齢者人口(65歳以上)	2,975	1,268	1,707	2,925	1,247	1,678
		(性比) 74.3			(性比) 74.3		
	65～74歳人口(前期高齢者)	1,504	709	795	1,517	715	803
		(性比) 89.2			(性比) 89.0		
	75歳以上人口(後期高齢者)	1,471	559	912	1,407	532	875
		(性比) 61.3			(性比) 60.8		
	生産年齢人口(15～64歳)	8,134	4,095	4,039	8,103	4,068	4,035
		(性比) 101.4			(性比) 100.8		
	年少人口(0～14歳)	1,671	855	815	1,680	860	820
		(性比) 104.9			(性比) 104.9		
構成比	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	高齢者人口(高齢化率)	23.3	20.4	26.0	23.0	20.2	25.7
	65～74歳人口	11.8	11.4	12.1	11.9	11.6	12.3
	75歳以上人口	11.5	9.0	13.9	11.1	8.6	13.4
	生産年齢人口	63.6	65.9	61.6	63.8	65.9	61.8
	年少人口	13.1	13.8	12.4	13.2	13.9	12.6

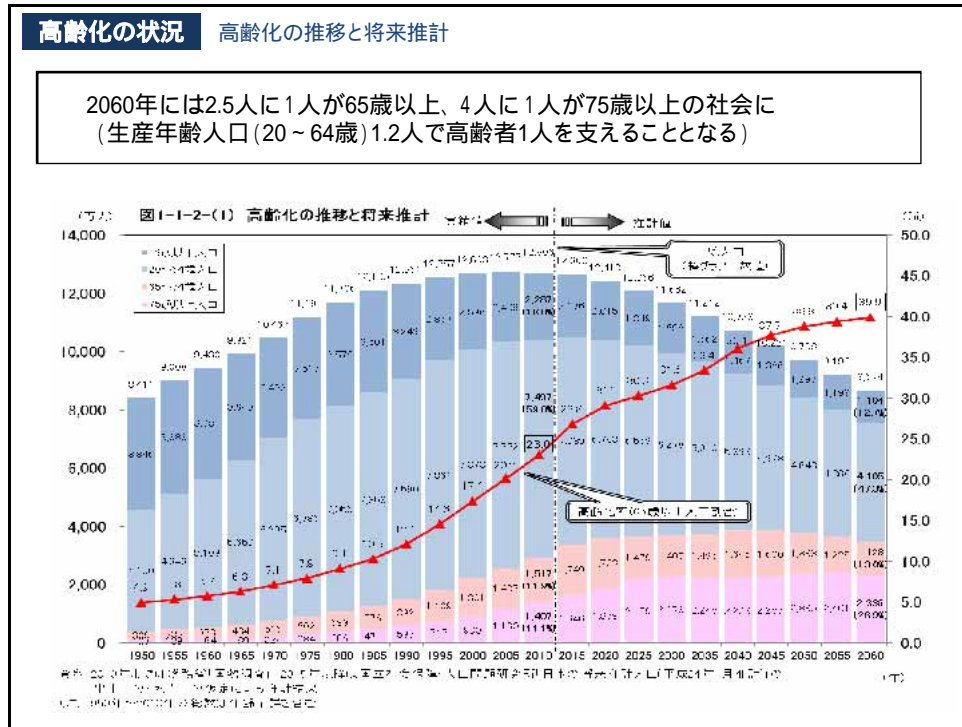
資料：平成23年は、総務省「人口推計」(平成23年10月1日現在)
平成22年は、総務省「国勢調査」(構成比の算出には分母から年齢不詳を除いている)

(注)「性比」は、女性人口100人に対する男性人口

我が国の人口は、昨年2011年10月1日現在で1億2,780万人となっています。65歳以上の高齢者人口は過去最高の2,975万人。前年が2,925万人なので、約50万人増加となりました。総人口に占める高齢化率は、前年の23.0%から0.3ポイント上昇して23.3%となっています。65歳以上の高齢者人口を男女別でみると、男性が1,268万人、女性が1,707万人で、女性100人に対する男性比率は74.3%という状況になっています。

また、高齢者人口のうち、65～74歳人口は1,504万人で、男性が709万人、女性が795万人。総人口に占める割合は11.8%。75歳以上人口は1,471万人で、男性が559万人、女性が912万人。総人口に占める割合は11.5%です。

<高齢化の推移と将来設計>



高齢者人口は、いわゆる団塊の世代(1947～1949年に生まれた人)が65歳以上となる2015年には3,395万人となり、団塊の世代が75歳以上となる2025年には3,657万人に達すると見込まれています。その後も高齢者人口は増加を続けて2042年には3,878万人でピークを迎え、その後、減少に転じると推計されています。

総人口が減少する中で高齢者が増加することにより高齢化率は当然のごとく上昇するわけですが、2013年には高齢化率が25.1%で4人に1人となり、2035年に33.4%で3人に1人となります。2042年以降は高齢者人口が減少に転じても高齢化率は上昇を続け、2060年には39.9%に達して、国民の2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると推計されています。

総人口に占める75歳以上人口の割合も上昇を続け、いわゆる団塊ジュニア(1971～1974年に生まれた人)が75歳以上となったあと、2060年には26.9%となり、4人に1人が75歳以上の高齢者になると推計されています。